

国語科 小学校 6年

単元名 作家と作品をかかわらせて読もう
「宮沢賢治」(伝記)

本時の流れ (第12・13時)

本時の目標

ポスターセッションを開いて、考えや事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら話し、意見や感想を伝え合う。

本時の学習課題の把握

ポスターセッションを開き、意見や感想を伝え合おう。

- ・ 進行担当の児童が学習を進める。
- ・ 発表者としてのめあて、聞き手としてのめあてを確認する。
- ・ 学習の進め方、時間などを確認する。

【めあて】

ポスターセッションを開き、意見や感想を伝え合おう。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 調べてわかったことや自分の意見や感想を、根拠を明らかにしながら発表できるようにする。
- ② 発表原稿を読むのではなく、キーワード程度を書いた発表メモを基に、相手の反応を確かめながら話せるようにする。
- ③ 友達の発表の仕方、印象的なところ、関心をもったところは、その理由を明らかにして感想を書くように促し、自分の表現に生かせるようにする。

ポスターセッション①

- ・ 計画に従い、発表者と聞き手（ともにグループ単位）に分かれてポスターセッションをする。
- ・ 発表後に聞き手は、意見や感想・質問などをカードにまとめ、交流に備える。
- ・ 聞き手は、発表内容についての意見や感想とともに発表の仕方についても自分の感想をまとめ、発表者に伝えられるようにする。
- ・ 意見や感想を伝えたり、質問に答えたりする。

【ポスターセッション】

☆ポスターにまとめて伝えたいことと、発表の際に付け加えて補足したいことをしっかりと考えさせ、ポスターセッションの準備をさせる。

ワークシートへ

ポスターセッション②③④

CLICK

- ・ 発表者と聞き手を交代したり、グループを変えたりしながらポスターセッションを続ける。

「活用」の力を育てるポイント

- ① 聞き手は、友達の意見と自分の意見の同じところや違うところを比べながら聞き、自分の意見をまとめられるようにする。

学習の振り返り

- ・ 本時の学習課題に沿って、「ポスターセッション」を振り返り、それぞれのグループでの様子を交流する。

【ポスターセッション②③④】

☆ここでは発表者と聞き手を交代しながら、また相手グループを変えながら4回のセッションを行った展開例を示している。学級の人数やグループ数などによって取り組み方法を工夫する必要がある。

HOME

単元の流れへ

授業展開例へ